

【4. 各部門の取り組み】

あなたが、人口対策、所得向上対策、産業振興の施策について、有効な施策は何だと思いますか。資料1-1

年齢	性別	意見
15～17	男	地区対抗でスポーツイベントを開催(高齢者もできるような)
15～17	男	店を増やす
15～17	男	住田町は借金を抱えていると聞きましたが、それならば施策の前に資金を集めなければ施策が行えないと思います。
15～17	男	・若者を通じた地域活性化事業(人と人との交流) ・若者が上京を望む理由として、その町には、魅力、経済、文化があるからだと考え。そのため、その町だけの文化をアピールしたらいいと考える。
15～17	男	子作り支援政策
15～17	男	・仕事の充実 ・結婚対策
15～17	女	雇用の充実 ショッピングモール 食事できるところを増やす
15～17	女	学生なのでわかりません。アンケートに回答する意味もわかりません。
15～17	女	住田町の人口対策についてはもう少し住田町のことについてPRした方が良くと思います。(ポスター・ホームページなど)
15～17	女	細かな利点を多くに知らせること。基礎の印象作りの強化。
15～17	女	買物が不便
15～17	女	・大きなスーパー ・遊べるところ ・デパート
15～17	男	大きいデパートを作る
15～17	男	ネットワーク社会になりつつある現代なので「You Tube」などで町のよさをアピールするなどして人を呼
15～17	男	人口対策 ・移住者限定の支援(1年間給付金を支給) 所得向上対策 ・企業誘致、水力発電、バイオマス発電、家具から家まで住田町で生産する。
15～17	男	商業施設の充実
18～19	男	観光スポットを作り、住田町バスツアーをする。 石灰石を利用する。
18～19	男	外部からの人や職の移動を求めるのであれば、SNSを使ってまず住田町について知ってもらいたいと思う。また、都市部で移住や町の紹介についての講演会を開いてみるのもいいと思う。(知ってもらわなければ外部からのアプローチはまずないと思う) 内部からの流出を防ぐなら、住民は生活の安定を望んでいると思うので、最低限現在の生活環境(医療機関や交通など)を維持するべきだと思う。
18～19	女	(完全オーガニックの農業、畜産)フランスの過疎が進んだいるか町でこれらの改革をしたところ人口所得産業すべてがうまいくいった町があります。
18～19	女	スポーツ施設の充実
18～19	女	住環境の整備と暮らしやすさ(子育て環境・買い物・移動・医療など)の追求(子育て世代が住みたいと思えるような)
18～19	女	若者が住みたいと思える仕事。子育て環境の充実、医療、教育環境の充実 ・空室、放置、農地の有効活用、定住民を受け入れる政策
18～19	女	けせんロックフェス以外にも、若者が集まるイベントや、興味をひくような施設等があれば地元離れが減
18～19	男	・町営住宅の増設(一戸建てで家族で住めるタイプと一人暮らしタイプ) ・住田に職場をおいても顧客の対象を住田の住民においたとしたら、所得向上は難しいかと思う。 ・産業振興についてはこれからだと思う。ただ住田の名物となる食べ物があり有名ではないかと思う。とりはらみを使った丼じゃないメニューを作っても面白いかも。
20～24	男	地域として宣伝できるもの(例:気仙川・滝観洞など)をさらに力を入れる。 子育て環境は整っているが保育士が不足している。しっかりと県内外に雇用を募集し、給料の底上げをする。職員(役場も含む)の雇用人数を増やす。
20～24	男	人口対策については、町の良さというものは町内に住んでいる人には良く分からないので、もっと良さを町民に教え、結果的に町外の人達にもためていけるような施策が出来れば良いと思う。 その他、所得向上対策や産業振興の施策について有効な施策は思いつかない。
20～24	男	少しでも山を切り開いて移住する人の住宅もしくは企業の工場とかに土地を割り振る。 各家に光回線等あるのだからそれを活かした情報設備の充実化
20～24	男	若者が住み続けたいと思うような町にする事がいいと思う。職種の増加や商業が発展し、町に活気づける方がいいと思う。
20～24	男	雇用対策、商業施設の拡大
20～24	男	・仕事を増やすこと ・移住しやすい環境を作る ・観光出来る場所を増やす
20～24	男	森林を重要するより、商業、工業に力を入れたほうが良いと思う
20～24	女	・仕事場を多くして若い人が来るようにする。 ・町のどっかに大きなデパート・イオンとかを作って人が来るようにするとか。
20～24	女	農業への取り組み
20～24	女	他県や他地域の人を呼び、住田町の産業に触れ合いながら仕事してもらおう。(ホームページを使って募
20～24	女	小さい子供が遊ぶ場所がもっと欲しい

20～24	女	・町営住宅等を増やし、暮らす場所を確保し、大型ショッピングセンター等買い物する場所の確保によりお年寄りも若者も暮らしやすい、生活動線を短くする。 ・太陽光、風力等を最大限に活用 ・働く場所の確保
20～24	女	人口を増やしたり、他地域から呼び込んだりするためには、人をひきつける魅力が無ければ関心すら持ってもらえないと思います。一度来ただけで終わりではなく、この町に住みたいと思える強みがこの住田にあるかどうかです。SNSや紙媒体等、情報発信方法はいくらかでもあります。イベントの一つとして移住者向けツアー等検討してみてもは？(人口対策について)
20～24	女	企業を立ち上げる
20～24	女	若い人が町外に出るのを防ぐ。
20～24	女	仕事場を作ってほしい(県外にいる子供達をよべるのでは?)
20～24	女	身近に仕事場がある事。子育てしやすい環境
20～24	女	子育てしやすい町になるための環境の整備(ママが買い物しやすい店、ママが一人でランチで切るような店) 雇用環境の整備(町内への誘致)
20～24	女	若者が積極的に働ける場所:企業を誘致してほしい!
20～24	男	産業や雇用を増やす
20～24	男	町コン
20～24	男	人口対策—子供を育てやすいように、母親に負担がかからないようにする。 所得向上対策—産業が盛んになれば所得が増える。 産業振興—町の木であるスギの品質向上をし、ブランドとして売り込む。吉野杉みたいに。 工芸の工房や家具メーカーとタイアップし、知名度を上げる。まず、質が他よりよくないと何をしても売れない。 特産品や産業はボトムアップできるもの。売れる。販路を作り、お膳立てしてやれば、誰もがやりたが
25～29	男	・単身・核家族向けの居体施設整備(安目の家賃) ・競争力ある教育
25～29	男	使用されていない田畑・山林(持ち主いない、手入れされていないなど)の有効活用。 空き家を修繕し、居住の斡旋。 外国人労働者の住居の整備。 商店街の空き店舗の賃貸。 20代・30代をターゲットにしたスポーツの拡充。多くの種目の推進 子供だけではなく、大人も気軽に立ち寄れるような公園。 今現在使われていないものを有効活用。
25～29	男	それ以前に住田町役場設立にかかった費用を3つの施策にかかる費用に回せなかったのが気になる
25～29	男	所得に対して税金が高い
25～29	男	産業振興＝所得向上対策・向上⇒人口対策・増加 1.就労場所の確保と充実(産業振興及び所得向上) ①重視すべき産業(重要)…超高齢社会に対して(医療・福祉・サービス)→町予算よりも、国からの支援・報酬を活用 ②上記①を達成するための他産業の充実(①に附随して活性化する) ③シルバー人材育成による生活年齢人口増加 2.人口対策 1.の就労に対し、居住(移住)、結婚支援、子育て、教育を強化→産業振興が第一(これに全て附随してくるもの) <結論>人離れ(若者)を防ぐには ①就労場所の確保②稼ぎに見合った報酬③居住場所の充実化 ※稼ぎにくい所に人は来ない ※住みにくい所に人は来ない⇒人口減少
25～29	男	
25～29	男	仕事を増やす
25～29	女	町内に、長期的な雇用を増やしていくべきだと思う。
25～29	女	子供がいる世帯に補助、母子家庭、父子家庭への補助。再婚・結婚した世帯に祝い金。新しく家を建てる家庭への補助、移住してくる世帯に補助、リフォームリノベーション補助、地元就職した人に祝い金
25～29	女	雇用の確保
25～29	女	医療がもっと充実していないと人口は増えないと思います。
25～29	女	町内から大きな病院まで30分かかることが、内陸から結婚して住田に住んですごく驚きました。子供が生まれて、しょっちゅう通院するのですが往復1時間かけて町外の病院に通うのはつらい。もっと医療機関を見直してほしい。買い物するにも町外へ行くことがほとんどですし、それなら町外に住んだ方がくらし
25～29	女	交通の便(特に高齢者が安心して通院できることだと思います)
25～29	女	町内で使える商品券だけでなく、町内の人々が魅力を感じる商店の誘致や、もしくは町内の中心部に道の駅などがあれば、地域の活性化につながるかと思う。
25～29	女	人口が年々、減少していく一方なので「住田町」の町名の名とおり住みたい町と思ってもらえるような、自然が豊かで犯罪がいないなどの魅力をアピールすることだと思います。
25～29	女	積極的な土地活用。工業地誘致や観光など、他県他市からお金がまわるサイクルを、作り出す事。
25～29	女	町営住宅を増やし、働く場所があること。 人口対策については一時的に3人目に30万円出すということだけでは産む人は増えない。産んだ後の保育園、母親の再雇用の場がないとなかなか仕事をやめてまで(育休をとってまで)産もうとは思わない。
25～29	女	若い人の仕事ができる場所が必要

25～29	女	人口対策:出産や育児に対しての支援は今まで通り続けていただき、同じ年の子供を持つ母親に対してコミュニティ支援などを増やせると良いかと思う。 また、地域の交流はできても男女の会合場が少なすぎる。 地域に1～2個でも食事の出来る場所や飲み屋などがあれば交流も広げやすいと思う。また少なからず、雇用促進になるのではないだろうか。 産業振興:メインの産業が農業と林業だと思うが、それに対しての情報が少ない気がする。若者が興味をもてるような情報だったり、所得だったりがないと発展することも難しいのではないだろうか。外に向けた活動をもっと積極的に行うことが必要だと思う。
25～29	女	自然の豊かさ。静かで空気がきれい。
25～29	女	給料を上げること!(福祉関係)
25～29	女	町民1人1人が町に対して愛情を持つこと。 恐らく町民自身が自分に対しての愛情を持っていないので自分自身を認め、愛せるようにする取組が必要。 イベントをしても場を作っても、そこに居る“人”が自分も他人も認めないのであれば上手くいかない。
25～29	女	毎日自分の家の玄関を掃き掃除すること。 国旗を掲げても恥ずかしくないような玄関先にすること。
25～29	男	不明
25～29	男	地元重点を置く仕事(農業、建設、商業など)の活性化 大手の企業などの会社を住田町に建設。
25～29	男	子育ても大事ですが、子作りに自を向けてみるのも良いのかもしれない。しかし、今の子育て政策は他市町村と明確に差別化を図られていて良いと思います。
25～29	男	人口対策:結婚対策をより重点的に
25～29	男	若い人が帰ってきてても住みやすく働きやすい環境があればいいと思う。 どうしても給料が低いと他の地域に行ってしまう。
25～29	男	人口対策において幼稚園無料化や住田高校の給食の無料化はとても良いと思われる。さらに、大船渡、高田への通学の補助(高校)があると住田町の人口増加へつながるのではないと思われる。むしろ、住高の給食は他の市町村からの生徒がいるが、他の市町村へ通う生徒は住田町民であることから住民の人口対策への効果は大きいと思う。
30～34	男	企業誘致
30～34	男	観光資源の開発、交通インフラの整備、企業誘致etc
30～34	男	住田町の売りは何か明確にすること。外から人を呼ぶって言うことは、自分は自然だと思う。つまり、農林業。住田町に移住するメリットをもっと出していかないと。移住してからもお金を稼げなすぎすぐ出て行くし。 今は、住田町で農業をやっているけど、これからも農業をするメリットがあまりない。農地を集めたくてもなかなかうまくいかない。
30～34	男	・原発誘致をする。 ・実際に働いていた人に話を聞くと、住田にある林業の企業の就労環境がひどすぎる。だから30を過ぎてからでも関東へいってしまう人がいるのではないかと。就労環境の完全が必要だと思う。町民が多いら
30～34	男	・もっと店を増やすべきでは ・それがゆるキャラ、ご当地ヒーローを作るとか
30～34	男	住宅の情報提供を、更に強化する。・役場入口や、受付の目に止まる場所に情報を大きく提示する。・可能であれば、町の施設や郵便局、銀行などにも提示する。
30～34	男	若い人が外へ出ないような施策を考える事が大切だと思います。
30～34	男	もう少し観光に力を入れた方が良い。又、商業に関しても、いろんな店があった方がにぎやかで便利、住田町にいろんな店が入りたいと言われたらまず受け入れるべき。観光に関しては何に力を入れてるか分からない。この2点を何とかしないと人口がどんどん少なくなってしまうと思う。観光に来て住田に住みたいと思わせる事が重要。又、税務課の態度にイラッとする。国保など、1カ月に何回も払えと言いに来て、払ったら納め過ぎてたとか。過払いになったら、もう少し態度に気を付けて欲しい。
30～34	男	住田町を今よりもPRし、他の市町村から移り住んでもらえるような取り組み。
30～34	男	・子育て世代への助けをもう少し充実させた方が良いと思う。現状、保育園等で入れない子がいる。金銭面でも支援がまだ足りないと思う。・空き家の状況が分かりづらい。(一覧にする、PCで確認できる様にする等の対策が必要)
30～34	男	大企業との提携を進める、それによる工場などの働き場所を作る。
30～34	男	人口対策については、住環境、教育、福祉を充実させ、周辺市町村との差別化を図り、移住を推進するような仕組みづくり。人口、所得向上、産業対策については、企業誘致、起業を推進するような仕組みづくり。また、趣味を副業にかえる仕組み。(特に兼業で行っている農業は、収支面を見てもマイナスとなり趣味の範囲でしかないで、それをどうやったらプラスにして収入を得るか)
30～34	男	道路網の整備、県沿岸南部と内陸部を結ぶ地点として
30～34	男	・不妊治療全額補助
30～34	男	木工団地問題の解決
30～34	女	保育料が無料になったことで町外の方にアピールすることができていると思う。実際に住田町に移住したいと考える人も出てくると思う。子供がいる家庭は本当に助かっていて、ずっと住みたいと思える環境に近づいたと思う。ありがとうございます。そして、町営住宅も町外の方から見ると、かなり魅力のあるものだと思う。入りたいという人が増えていて、人口増加につながると思う。
30～34	女	町内に働ける所がないので、施設誘致などして雇用を増やせるようにしてほしいです。
30～34	女	人口対策→子育て環境が他の所よりも魅力的なら、子育て世代が集まって来るのではないのでしょうか?

30～34	女	町外への移住する理由として、町内に住宅がないことがあると思います。町内のアパートも賃貸の金額が高い。
30～34	女	町内に若い人達の雇用場所を確保すること (高齢者数の多い住田町ならではの医療・福祉サービスを展開する等) 子育て支援策の強化
30～34	女	住田らしさをもっと。杉のガードレールを増やして林業の町のアピールを。 間伐した杉を燃やす熱で発電、銭湯を作って住民に提供する。 発電した電気を売ったり、施設に使ったりするとお金が入るか。 銭湯は「住民は無料」にすれば住民が集まり自然とコミュニケーションが取れると思う。 ペレットストーブを一家庭に1つ配布し、林業アピール(まきストーブでもいいと思う)間伐材をまきにすれば処分費はかからないのでは？ 川の護岸を昔の土や石にして里山を整備してみる等
30～34	女	企業の誘致
30～34	女	人口対策・産業振興…住田町の住みたい町魅力を他県などにも発信していく。他県や他市町村と合同または、協力して物づくりを行う。
30～34	女	工場などの産業があれば子育て世帯が勤務、住宅などに入り、人口が増えるかもしれない。町民の税負担をさせないためにも、林業の負債額を増やすことなくしてほしい。
30～34	女	住む場所・働く場所が増えると人口は減らないと思う。子育て中のお母さんが働きやすい環境があれば世帯の所得も増える(多少)と思う。やはり、土曜日の保育園が午前中だけだと困ります。
30～34	女	人口対策には、若者が「結婚したい」と思える環境にしないといけないと思います。所得少ない、大人は結婚しても苦労ばかりしている。子育ても大変そう。そんなひとばかりが周囲にいたら、結婚なんてしたくなくなると思います。今いる大人が、幸せになること、それが一番だと思う。所得向上や産業振興は企業に頑張ってもらうしか…。基本給のUPは切実。農業、林業も「大変そう」←これが若者が嫌がるんだと思う。離れる理由ですよね。施策じゃなくてすいません。
30～34	女	土日の保育時間等検討すべき サービス業従事者は土日も出勤
30～34	女	企業誘致(商業施設等含む)
30～34	女	企業誘致・高齢者への優遇措置・現在働いてる世代への何らかの補助
30～34	女	移住者に対して、住みにくい。まず、町に働く場所(安定した仕事)がほとんどなく、住む場所も、移住者からすれば住み辛そうな場所ばかり。下水もよくない。地域のコミュニティーも、保守的な方ばかりで、なじみづらい。住田町で人口が増えないなら、移住者をもっと大事にすべき。特に、子育て世代を大切にすべき。観光もほとんどなく、イベントは世田米ばかり。通りすがりの住田町にさせないためにも、国道沿いに道の駅のような物があるとよいかまじれない。
30～34	女	人口が減り続けている住田町では非常に厳しいことだと思いますが、まず買い物できる場所が少ない。限られているため他市へ行くことが多い。このことは産業に関わってくる事かと思っています。また、病気をした際、他市へ行き治療せざるを得ない。大人は町の医院や診療センターで何とかなくても子供は不安。受信できる日も決まっているし、継続して治療が必要そうなら他市へ行ってしまふことが多いです。 仕事も町内では限られている。夫婦共働きですが、どちらも他市で仕事をしています。衣食住が整わなければ人口の流出は否めないと思います。 子供が小さく共働きのため、祖父母と住んでいますが、そうでなければ移住しているかもしれません。しかしながら、保育費の見直しや子供の医療費の還付等は助かっています。
30～34	女	・職場の確保 ・デパートなど買い物できる場所の充実 ・賃金の引き上げ ・医療の充実・交通(バスetc)の整備
30～34	女	働く場所 買い物環境の整備(いつまでも「昔からの商店」にこだわってられないと思う)
30～34	女	働く場所・住む場所がもっとあればいいと思う。
30～34	女	・移住者等呼び込むのも大切ですが、今、住田町に住んでいる人に満足してもらえるような施策が必要だと思います。生きていく上で最低限必要なこと(保健、福祉、医療、労働、教育、子育て等)を充実させることが重要だと思います。今住んでいる人が満足するような町になれば自然と人が集まってくると思います。 ・町(商店街等)も少しずつ変えていくよりも思い切ってテーマを決めて、町全体を変えた方がよいと思います。一部だけでなく、方向性を決めて町全体を変えた方が、みんな動きやすいのではないかと思います。みんな、今はどの方向に向かえばいいかわからず迷っているのではないのでしょうか。 ・ネット環境が充実してるので、ネット販売やネット上で行える仕事を充実させてもいいのではないでしょ
30～34	女	雇用の施策
30～34	女	移住・定住の取組みをもっと真摯に行うべき。チャンスロスがもったいない。いきなり東京からの定住者を呼び込もうとしても他の自治体に勝てる武器がない。もっと身近なところから呼び込むべき。
30～34	女	気軽に申し込める町営住宅を建ててほしい。(金銭的…母子家庭にも安く住める場所を希望)個人的な意見でスミマセン
30～34	女	・交通の利便性向上(バス等)
30～34	女	・町民住宅は家賃が低めなのに、個人賃貸は高い。家賃が高いと人口は外に流れてしまう。 ・保育園に預けなくても暮らしやすい町になれば最高。いつでも行ける屋内の遊び場があれば良い。主婦も暮らしやすければ、子育ても少し楽だと思えると思う。 ・世田米地区国道沿いに大きい産直施設を作り、イートインスペース、温泉なんかもあると、外からもわざわざ来る人が増えるのでは。種山は何度も行きづらい…大船渡や高田にはない種の施設だと一番良

30～34	女	・コネや金がらみで住む場所があっても住みたいと思っている人が住むことができないので、人口は増えるわけがない。どんな人でも住めるようなアパート(安め)を建てれば黙っていても住む人はいるのではないのでしょうか。 金を使うところを行政は考え直したほうがいいと思う。 ・使っていない古い建物は、早急に壊した方がいいと思う。どうして壊さず、とっておくのですか？
30～34	女	働く場所がたくさんあること
30～34	女	・町が活性化すれば良いと思います。 ・スーパーがあっても、衣料品点が少ないので増えれば良いと思います。 ・コインランドリーがあれば良いと思います。
30～34	女	・住田町内で雇用場所が少なく、若年層が経済的に生活しやすいとは言いがたいと思います。雇用を生み出すことが様々な施策につながっていくと思います。
30～34	女	ツルハとかドラッグストアが欲しい。 急な時片道30分はきつい！しかも、9:00までという時間制限付きである!! 住田にあった町づくり…それは良い事かも知れない。その前に今住んでいる人達がより良く暮らせる方法を考えて欲しい。町外から人を呼び寄せたいのであれば、まずは普通の生活に必要なところにもっと目を向けるべき。スーパー、ホームセンター、ドラッグストア←三大条件！ 利便が良くないのに「町づくり頑張っています」は他から来たものとしては、「だからどーした？」レベルです。役場作る前にドラッグストアだろ？と思っただけです。
30～34	男	人口対策: 出産に伴い、祝支援金提供(1人出産で30万～40万とか) 所得向上対策: 住田町民全員で少額出資で株をやる。 産業振興: 林業の町だから、木を使った建物で薬局や若い世代でも通えるカフェ、買い物ができるタウンを密集させる。(コンビにはすでに混んでいるので、コンビニを中心に近くに作れば良い。クップなどいろんな種目のためのスポーツ施設の集約。若い世代が使用すれば活性化・産業になる。近隣の町へはテレビCM。それ以上の町、他県へはネットが良いと思う。
30～34	男	企業誘致
30～34	男	医・食・住がしっかりしていないと新しい人は住田町に入ってくれないと思う。 特に「医」だと思ふ。
30～34	男	工場の誘致・非課税にするなど大型の工場または、工業地域を作り、雇用と人口増加を目指してもらいたい!!働く場所がなければ人口は増えない。もちろん、住宅地開発にも力を入れてほしい。
30～34	男	・住居の確保において、大船渡、高田、遠野より頭一つ抜き出る。(ベッドタウンとしてのポテンシャル高い。)具体的には、通勤の燃料費の補助や、冬の灯油代の補助(小さな金額でかまわない。宣伝になる)町営住宅より奥行きのあるアプローチや、不動産情報発信元の整備 ・107号から見た“通り過ぎる町”という他の町の人間のイメージを拭い去る。 古い蔵並の景観や鏡岩、めがね橋、滝観洞、気仙川全域の美しさにお金を落としてもらおう仕組みづくり。それにより住田町民に様々なメリットが生まれることをまず共有していき、一体となり、取り組めるようなベースを作る。
30～34	男	他県、全国、他市町村への移住に対する情報発信をより積極的に！
30～34	男	・子供への支援 現在の活動維持。 ・住田町からスター・芸能人の発掘育成
30～34	男	・企業誘致 ・農林業の活性化
30～34	男	住田をどういった位置づけにするか ベッドタウンなど… 連休など内陸に気仙から行くには住田を通る車も多いようですが、ただ通り過ぎるだけでは…
30～34	男	福祉産業の強化 高齢者の割合が多いのならばいっそのこと「老後住みたい町日本一」を目指せばいいのではないかな。今後需要が増える産業だと思えるので仕事を求めて町外から若い人材も増えると思う。
30～34	男	子育て支援を充実させ、他県、他町から人を呼び込み、仕事の間を提供して人口を増やす。
35～39	男	就労機会。会社。雇用の対策強化！
35～39	男	若い世代の人達が安心して仕事をし、生活できる環境を作ること ・就職場所の増加 ・賃金 ・Iターン等の推進(若い人を呼べる環境づくり)
35～39	男	・税金減 ・働ける場所
35～39	男	住田町は林業の町です。 林業だけじゃなく、もう一つ何か住田町にしかない物を全国にアピールできれば所得向上対策になる。
35～39	男	「地域性を活かした経済循環構造の構築」 具体的には、国道107号線沿い(世田米バイパス周辺)に木造の町産品(農産物、林産物、畜産物、水産物)等を加工、販売する施設と木質バイオマスエネルギーを活用した入浴施設、飲食できる施設を一ヶ所に併施し、公施民営で取り組む。 ハード面については行政で、ソフト面については民間で出資し民間で経営する。効果として農林業振興につながり、観光客等からの外貨獲得と地場産品の経済循環がおこり、雇用への場が創出される。また、町民の憩いの場が出来て、町の森林林業の町づくりのPRにもつながると思います。

35～39	男	まず森林・林業で赤字日本一の町をやめてほしい。人口が少ないなら、他から来るようにしてほしい。のっとられる覚悟で新しい血を入れて欲しい住みたくない町だということを認識して取り組んで欲しい。無能な人が多いから外部の人を増やしてマジョリティーを分かせた方がいい。 肅清が必要なのかも
35～39	男	沖縄から米軍基地を受け入れたら？ ドイツ・ニューブルクリンクのような国際的に有名なサーキットの建設かつ、イタリア・ナルトのような真円テストコース、自動車総合実験研究・試験施設の建設（各自動車メーカー受け入れになる、自動車関連が一番、経済効果が大きい。）
35～39	男	若者の就労場所の確保
35～39	男	林業先進地域への広範囲な視察を行う。木材加工と販売もだが、森林整備の手法を学び、指導者がつければ素人さんでも安全に行える整備マニュアルを造り体験ツアーなどどうかと思う。宿泊は大股、五葉の公民館を利用、あるていど利益が得られたら遊林ランドのボイラー新設を検討してください。あれは需用あったと思っています。食事は牛かありすパークなどと季節の野菜、山菜など、他地域の人にはウケが悪そうなもの、塩蔵の山菜などはひかえる。対外的な価値を見極め、変に安く売らない。又、山内の道
35～39	男	例えば、「教育」に対して徹底的にやる。給食費や学費、医療費等、子育てにまつわる全ての費用を無料化し、アピールする。他県からの移住者を期待するのではなく、大船渡、陸前高田、遠野など、住田町からでも通勤できる子育て世代を住田町に来てもらい人口を増やす・少なくとも他の市町村とは違うことをやらないといけないと思う。
35～39	男	・三木、ランパー等に、融資をした事をちゃんと説明したが、その後の状況の説明に対して軽くみていたのではないかと。8億もの税金を使うのであれば、もっと人の集まって住みやすい住田を作った方が良かったのでは。・いつも同じ人間の集まり(会議)じゃなく、色々な集まりを開くべき。
35～39	男	技術者の育成
35～39	男	・一極集中形にすればよいと思う(事業等) ・他の地域とくらべ一見極端とも思える政策が必要。 ・住田町を県内随一のラブホテル街にする、風俗街にする、一見アホだと思われるでしょうが、こんな山しかない全国トップクラスの過疎地域には、それくらい極端な政策が必要
35～39	男	産業振興
35～39	男	・ベッドタウンとして存在し、教育、住環境を充実させる。 ・サークル活動等の情報提供。 ・山間部の下水整備。 ・集落地域内の交流。 ・不審者情報の提供。 ・道路、川、山等のポイ捨てゴミの処理や回収情報。 ・高齢者等への情報化教育。 ・企業等へアクセスしやすくする。
35～39	男	宿泊施設をふやして格安避暑地として売り込む
35～39	男	・「今までこうしてきた」等古い考え方を変えないところが、ダメだと思う。外から(移住者)の人の考えを取り入れ、また移住者の会等を作り、新しい施策などを取り入れた方がよい。 ・中心部(世田米)の活性化だけに力を入れている様に思われる。住田町は世田米だけのなか？
35～39	男	人口対策の大枠としての方策は流出防止、出産・育児支援、移住の奨励の3つとなる。流出防止としては生産世代の取り込みとしてUターン・ターンによる生産世代増加を基本としなければその後の所得・産業振興につながらない為、20代以降、30代前後の世代が魅力を感じる方策でなければならない。その為には「産んだら得する」環境を提供しなければならず現状50代～前期高齢者が担っている産業(主として林業)を町主体で後継者育成という名目の下、全体的な援助(事業安定までの経済支援を含む)をしていかなければならない。まず若い世代を呼び込む為に、一般的なそれとは一線を画したびっくりする程得する支援を初期投資する必要がある。小出しにしても先細りする以上、「5年は若者を町で養」くらいの住みたい町プロジェクトが必要。まずは人を増やすことから思考する。
35～39	男	大きい雇用施設に費用をかけるのではなく、少ない費用で、各々の工夫で、地域ならではの何かを支援できれば良いのではないのでしょうか？又、大規模雇用には経営の専門家をつけた方がよいと思う。
35～39	男	町内で経済を循環させる取り組み。特に海外に流出しているお金を町内産業に置き換える。
35～39	男	世田米バイパスの活性化、商店などの多様化
35～39	女	これからの住田町を考えて、移住対策は必要になると思います。 移住対策＝人口対策にもなると思うので… そして、移住してきた方が「来てよかった」と思える町づくりを希望します。
35～39	女	・働く場所の確保 ・住む場所の確保(家賃が高かったらなかなか借家を借りる人がいないので駆りやすいようにする) ・子育て・福祉の充実をはかる
35～39	女	町内に働く場所が少ないので町外へ行かざるを得ない。 もっと働く場所があれば良いと思う。また、働く場所があっても高田市内、大船渡市内に比べると賃金が低かったりするので、条件を一律にするべき。
35～39	女	働く場、買物のしやすさ
35～39	女	住田に来た人がお金を使う場所が少ない。通過するだけではなく立ち寄ってくれるような店などがもっとあればいい。アリスパークや清流鶏や地元の野菜などを安く食べられるところがあれば住田の良さもアピールできていいと思う。気仙川と蔵の町並みを見ながらくつろげる食堂など。
35～39	女	結婚・他お見合いのがありますが、とても良いことだと思います。
35～39	女	人口減少対策として、移住者への住居費用の補助や結婚・出産をした者へのお祝い金制度のようなもの。 雇用の場の設定。 産業振興では、全国で行われているふるさと納税を利用して住田の特産品を発信してみても？
35～39	女	レジャー施設を建てる。温泉など…
35～39	女	結婚

35～39	女	町に全く活気がないので、移住者を増やす対策(例えば、芸術家とか外国の方とか)どんどん他から来る方呼んでサポートしていくべき。他県ですでにそのような事も多くしているようなので。産業でいえば、杉をもっと色々使えないのかと思います。家具とか小物とか、色々なグッズを作っていくたり、空いてる農地を使って、いちご狩りのような観光に来てもらえるような場所を作っては。大きめの農園もないよう
35～39	女	保育園の受け入れ月数の引き下げが必要だと思う、また、土日の一日保育、全ての親が土日休みではないし、育児休業できるわけではない。一時、仕事をやめるので、所得の向上にもならないし、近くに仕事がないので、次の仕事を見付けるのも大変。人口も増えない。
35～39	女	・交通の便が悪い ・物価が高い ・有力企業がない
35～39	女	働く場所をもっと増やして欲しい。子供を安心して産み、育てられる町づくりをしてほしい。
35～39	女	・働ける職場を増やす ・住居(アパート、マンション、公舎)の充実 ・商店街、商業の活性、農業の充実 ・未婚対策など
35～39	女	住田町民が住田町で働ける場をもっと増やしてほしい。すみっこをもっとPRしてほしい。
35～39	女	滝観洞は足腰が丈夫な人しか行かないと思うからできるだけ照明をしぼってヘルメットにライトがついたものをかぶって冒険っぽくしたほうが面白いと思う。 管内に本格的なりハビリをできる施設がないので、住田病院の2Fを有効活用できればいいのにと。思う。
35～39	女	副業特区のようなものを考えてみてはどうか。 ・副収入の課税を企業・就業から2～5年減免する。 ・一般の人が利用できる(大人が)就業訓練の補助金(分野を限定しない、現在就業中の人も使えるもの)その事業が成功しなくても5年以上住み続けなければ転入、移住者も申請できるなど。
35～39	女	医療・保育料の免除はとでもありがたく、他の地域の方よりも反響がありますが、住むところがないというのが現状です。住宅でもいっぱい建ててもらってもっと若い世代が住みやすくなると思います。
35～39	女	これらの対策は行政だけでなく、個人個人の努力が大切だと思うので互いに連携しあっていくべきである。反面、行政でもこれらのアンケートを集計していく中で皆の目標をつかみ、具体的に示してもらえたら
35～39	女	住居・仕事の充実・周知
35～39	男	空き家などの情報の公開
35～39	男	住田町に仕事がなく町外に出なければならぬ。仕事やお店があればいいと思う。
35～39	男	林業に力を入れた結果、木工団地もこの有様です。商業・工業に力を入れたほうが良いのでは?
35～39	男	働く場をもっとあり、いろいろな店があれば人が集まると思う。
35～39	男	『すみたい町』を意識した施策を考えるべきだと思います。 具体的な案はありませんが、何か対策を考えた時に、それが『すみたい町』に合致するのか、その方向に向けた案なのかを考えるのが良いと思います。 色々な案が出たとしてもバラバラな目標を持ってしまうとまとまりがなくなり、しりすぼみになる事が多いと思うので大雑把ではありますが、上記のような提案をさせていただきました。
35～39	男	雇用確保 企業誘致
35～39	男	仕事場所がない、仕事の種類が少ない
35～39	男	・空き家情報(賃貸)の充実。町営住宅(アパート型)の増築。 ・若者(20代～30代)向けの娯楽・交流の場の提供。 ・高校生・中学生から就職したい職種(食品工場・機械工場)を聞き取って企業の誘致。 ・産学官連携での特産品の開発。 ・木材加工(コーティング等)の研修施設を作る。
35～39	男	働くところがないので人口が減るのは当然 働き口を増やしてほしい
35～39	男	・商店街の復活にお金を使うのは無意味。 ・NPOのように利益を出さない取り組みも補助も無駄。 ・新しい産業、起業に対する多額の補助が必要(30万円程度では何もできない)
35～39	男	企業誘致
35～39	男	若人のための産業
35～39	男	町外からの移住者を増やす
35～39	男	風俗店
35～39	男	人が立ち寄れる場所を増やす。(ショッピングモールの施設)
35～39	男	薪の駅を作って自伐林業の推進 一次産業に力を入れ食料とエネルギーの自給率を上げる
40～44	男	働く場所の確保・充実(積極的な企業誘致など)
40～44	男	・低所得者への給付金 ・娯楽施設の建設
40～44	男	・企業誘致等雇用の充実 ・子育て環境の整備(公園や施設等)
40～44	男	大口雇用を生み出す企業・工場誘致は必要であるが、若年層の流出防止と移住者を受け入れ態勢を整えるべく住環境・教育環境・医療環境を今以上に拡充させる必要があると思われます。
40～44	男	もっとアピールすべき。新しいことをしてみる。
40～44	男	高卒後の就職口。気仙管内若年令主婦への支援 移住希望者への空家や土地の提供 あととりのない農家、文化関係に人材の派遣
40～44	男	林業以外での企業誘致
40～44	男	外よりも内と言うべきか。
40～44	男	企業への積極的に土地利用、更に雇用が増え所得向上にもつながる

40～44	男	人口対策については、ふやすことよりも減らさない？工夫に力を入れてみるのも一つの方法のようにお 思います。 ・結婚の推進にもっと力を入れるべき(独身者が多い)。具体的な施策はないが、情報発信やイベント等 を積極的にやってほしい ・移住についても、空き家情報だけでなく、グループで住まいをシェアできるような居住環境があってもいい のでは
40～44	男	・人口対策⇒子育て、教育環境を整える ・所得向上、産業振興⇒手遅れ
40～44	女	働く場所がないと、それ以上のことは望めないと思いますので、働く場所が増えてほしいです。
40～44	女	給料・自給を上げること
40～44	女	雇用対策。安心して子供を産み育てる収入を確保する。
40～44	女	どこかのマネをするのではなく、中途半端にするのではなく、住田の良いところを出していくのがいいと 思います。
40～44	女	住田が他地域と違って住めば町民にとってメリットのある生活が出来るんだということを次世代の子ども 達や気仙地区の人達にどう伝えるか。 一番の住田町のいいところを伝えていくこと。
40～44	女	住田町にいながらできる仕事がない。 町内で仕事が出来ても、所得が良いわけではない。 町内でできる仕事で所得も良い。 野菜、竹細工などのネット販売システム
40～44	女	企業誘致(商業)
40～44	女	産業振興、特産品の開発(お菓子)
40～44	女	農業の法人化？を作ってみる。米作→麦作を広める。
40～44	女	二重生活のしやすさ。都会と田舎を行ったり来たりして生活するしやすさを追求してもよいのかと思いま す。“googleもアップル社も田舎にあります。”のキャッチフレーズをきいたことがあります。山は林業だ けでなく、高低差があるので、水力エネルギーも使えると思います。
40～44	女	住田ならではの「うり」を作る
40～44	女	町内で雇用のばがもっとあれば、人口減少防止につながると思うので、雇用対策に力を入れた方がよい と思う。
40～44	女	住田のいい所、悪い所を見つけ直す。住田町の情報をもっと多くホームページやチラシなどを活用したり する。
40～44	女	・働く場所 ・子育てしやすい環境
40～44	女	人口対策については、ふやすことよりも減らさない？工夫に力を入れてみるのも一つの方法のようにお 思います。子供達が小さい時に自然の中でめいっぱい楽しく遊ぶと、一度外へ出て戻ってくるのでは ないかなと、最近思っています。家族円満も大切な要素ですし、一度外に出ることで、社会の何たるかも 身に付け、いずれふるさとの役に立っていただけたら幸いなのですが…そのための、子育て支援、コミュ ニティー支援、介護支援等が重要になってくるかなあとと思います。このことで、ある程度減った後、ある程 度増えたり減ったりをくり返すような気がします。申し訳ありません。この程度しか思いつきません。「な ぜ住田町に住んでいますか」アンケートをもとに考えてみると良いのかもしれない。
40～44	女	企業誘致
40～44	女	有効な施策の前に住田町はこの近隣の地域からの立ち位置的な…どういう町にしていきたいかと思 います。観光地にしたいのか、ベッドタウン的な町にしたいのか…。指針がしっかりしなければ全て中途に
40～44	女	町外に引っ越したいと思っている人達の理由を検証・改善すること。
40～44	女	町内で働く場所があること。
40～44	女	イベントなど持続可能な取り組みを少しでも出来る範囲で増やしていったらいいかと思 います。
40～44	女	立地的に通過点であること。自然(山・川)に囲まれていること。清潔感のある町であることをふまえて他 に魅力を発信して行ってほしい。いずれにしても、駐車できる(いつでも、たくさん)、ちょっと一休み(お いしいコーヒーや軽食)できる(ドライバーが)空間があれば、人は集まりやすいと思う。あとは、教育の 質を高めていけば、若い世代の移住につながると思う。(図書館の充実、国際交流、文化芸術活動のさ らなる発展)種山をもっとイベントにいかして、国際的なイベントもやれるようにすれば、注目されると思
40～44	女	所得向上対策でまじめに仕事している人にもっと収入を上げてほしい。
40～44	女	働き口の確保
40～44	男	無駄な投資をやめ、もっと広い視野で地域の振興を考える
40～44	男	国機関、研究機関の誘致 森林林業日本一に特化した町づくり 子育て日本一の町づくり(国際教育、医療費助成は継続してほしい)
40～44	男	若い世代が住まない事には人口は増えないと思うので企業誘致であったり、安心して働けるように子育 て支援対策は今まで以上に必要だと思 います。
40～44	男	若年層の働く場所の確保と生活し得るだけの収入と家族を養える環境の整備
40～44	男	住田の住民に仕事を提供するため、また同様に若い労働者およびその家族が定住するよう誘致するた め、住田に工場を建設する意欲のある中・大企業を探すが、我々にとっての最優先事項で。もし安 定した仕事と住田に手頃な住宅があれば、増収につながり、住田再生の第一歩となるでしょう。仕事が あれば労働者が家族と一緒に住田に移住します。住田の人口が安定すれば、第2の事業(店舗・レスト ラン・居酒屋)は安定した客数を確保することができるようになるでしょう。

40～44	男	高校・中学・小学生の教育。仕事に対する意欲がなく、足し算や漢字の書けない高校卒業生が多すぎる。(住田高校卒業生)自ら汗をかいて仕事をする人が少ない。
40～44	男	大型ショッピングセンターの建設(イオンなど)
40～44	男	道路整備
40～44	男	他地域から人が集まるような名所、名店等ができればよいと思う。
40～44	男	雇用の場がないので、人口も増加しないのでは？ 地元企業の活気がなく、所得向上につながらない。収入減少である。
40～44	男	人口が増えれば町が活性化する。そうすれば、色々な職業が増える。そうすると、色々な仕事を選べる。いつかは、自分にあった仕事も見つかる。自分にあった仕事に就けば意欲も湧くので所得の向上も自然となる。 人口増加には交通機関の充実。どっかの都市のベッタウンとか。林業も大事かもしれないが、もっと広く見ても良いと思う。米、豚、鳥、新しい特産物？大企業の誘致。高齢者が多いので町全体を老健施設の機能にしようとか？高齢者⇒利用者、若い人達50～20才、職員とか？そうすると全員仕事に就けます。歴史でも200年くらい前は気仙管内では住田が一番人口が多い町だった。その後沿岸部に人は移ったが、沿岸部は津波のリスクがある。災害リスクは沿岸部よりはリスクは少ない。内陸部のライフライン
40～44	男	住田町には沿岸市よりも内陸に近く、花巻、北上、水沢などにいずれも1時間程度です。住田に移住して住田で働くモデルを考えず、住田に住んで内陸に通う町づくりを進めるしかないのではないのでしょうか。町営住宅(1戸建て)が安く借りられれば、子持世帯が移住する可能性はあります。
40～44	男	子供が預けることができず、仕事ができなかったため、これから子育てする人達は住みにくい町だと思う。また、要望を出しても聞き入れてくれない族長や行政では余計に人口や収入は増えないと思う。また、町全体が地元間が強く外部からの人はなじめないと思う。もっともっと外からの人に対し一人ひとりが声をかけたり世話をし溶け込みやすい雰囲気を作らなければならないと思う。
40～44	男	周辺からの移住したくなる環境づくり
40～44		住田町を一旦離れた人が戻って来やすい様なUターン支援対策
40～44		何をしてもあまり変わらない気がします。
45～49	男	雇用
45～49	男	・観光客の増加 ・商店街の復活
45～49	男	企業を誘致したりして雇用の場を増やす 中高年で非正規労働者として働いている人達が正規雇用される途をつくる。
45～49	男	企業誘致
45～49	男	働く場所の確保
45～49	男	災害に強い町をPR。気仙地区のNTT、東北電力などの企業に支所(気仙地区)を住田に。
45～49	男	住田町の独自の産業
45～49	男	就労先の確保(できれば選択肢が多いのが理想)
45～49	男	早期に対応すれば間に合った施設も多かったと思うが今となってはすべて手遅れになっているように見受けられます。
45～49	男	農振区域の削減と集中化…他の市区町村から移住を考える人が、マイホーム建築を予定するにも建築可能な土地が希少な状態にある。不動産取引のさまたげになっている。農振除外の方向性なくして人口減少の傾向に歯止めがかけられないと思う。又、文化施設が無いことは、あまりに寂しい状態だと考える。少なくとも図書館ぐらいの施設が建設されるべきだと思う。
45～49	男	大手企業及び道路整備
45～49	女	未来の子供達のために
45～49	女	意識づけ・無感心の対策 必要性を感じてない人が多すぎる
45～49	女	・男性の働く場所が必要 ・隣町から引っ越してきたくなるような子供の教育環境の向上、英語はしゃべれて当たり前でさらにプラスもう一つくらい外国語がしゃべれるようになるとか…国際社会に対応できる教育を考えてみてはどうか
45～49	女	就業場所の確保 働くところがあれば人も集まると思います。一過性のものでなく長期的なもの。
45～49	女	少ない若者達で元気よく活動してくれる人もいれば、無関心で参加しない人もいるし、子供を育てているうちは仕方ないのでしょうか。
45～49	女	・いつまでも林業ばかりに頼るのではなく、商業工業に力を入れて若い世代を地元で働けるような環境にするべきではないでしょうか。 ・シルバー環境ばかり整えるのではなく若い世代の住み良い町づくりもするべきです。
45～49	女	農業法人を作る 道の駅(産直)をもう一ヶ所つくる(バイパス) 住田高校で農業を学べるようにし、育成・地元就職の道筋をつくる
45～49	女	企業誘致、道路整備
45～49	女	長く勤められる職場の開拓
45～49	女	県内に一つしかないような森林を活用した施設
45～49	女	・町内での会社が少ない ・賃金が安い。生活が大変。
45～49	女	働く場を設ける
45～49	女	住む場所、仕事などが不足しているのでは。

45～49	女	近隣市町に職場のある方に移住を勧めようにも、空き家、空室情報が探しにくく、特に独身者が入居できる住居がありません。人口対策として特に速効性があるのは、若い独身の男女が同じコミュニティに多数参加し、伴侶をみつけて定住してもらうことだと考えますが、住田町に縁故のある人しか住居を確保できない状態では、人口は増えませんし、まちににぎわい(商業の活性)も戻らないと思います。(とりあえず、ベッドタウンでもいいのでは?)
45～49	女	稼ぐまちになる
45～49	女	雇用対策、働く場所があれば若い人達がもどってくるのではないのでしょうか。地元企業の仕事を住田テレビを通して映してはどうか。
45～49	女	若い人が住田に安住するように企業誘致などを行い、働く場所を確保しないと、どんどん人が流出してしまうと思う。今よりもっと給料が高い職場でないと、家族で住田で生活することをためらう人が多いと思
45～49	女	仕事のない所には帰って来ないと思う。 子育てにはお金がかかるし保育料が無料とはいえ、お金がかかるのは高校卒業してから!! 住田町にある企業の給料では生活するだけでいっぱい입니다。
45～49	女	若い人が集まってくる町づくり。商店街の魅力化。町営住宅がおしゃれ(デザイナーハウスみたいな)になれば自然と若い人が住みたいと思う。 軽井沢みたいな雰囲気のある町。
45～49	女	就労の場の確保。4号線へのアクセスの良さ。 ILCの誘致による関連事業推進 地域内のしがらみからの開放
45～49	女	・子育て世帯の働きやすい環境 ・住田町が得意な分野(林業など)で雇用を増やす仕組みづくり ・町民一人ひとりが住田町の将来を考え、課題(人口対策etc)を自分のものとして認識し、危機感を持って一緒に取り組んでいくこと
45～49	女	各産業の法人化
45～49	男	雇用と結婚対策
45～49	男	・人口対策 ・移住のすすめ ・所得向上対策 ・小学校からの学力向上に取り組む。・産業振興 ・土地提供
45～49	男	無駄な出資金(12億円)
45～49	男	一次産業、二次産業をやめる。農林業はNO!!淋業である。中央大資本、大企業を誘致する。首都機能を住田に持ってくる。カジノ、ゴルフ場、遊園地、巨大ショッピングモール、クラブ(ディスコ)、大きな映画館(どこの国か忘れたが、車のアンテナにコードを繋いでラジオから音声を流し車に乗ったまま映画を見る事が出来るというのも面白い)等、大人も子供も楽しめる施設を作る。 あくまで、住田を中心に考えること。現在、住田は内陸から大船渡、陸前高田へ行く交通の要所であるが、素通りされ、地の利を生かしていないのはおしい。今現在の事も考えなければならないが、東北自動車道への道が整備されること、仙台まで三陸縦貫道が整備されること、花巻空港に台湾とのチャーター便が来ていること、リニアモーターカーが開発されることも考え、その恩恵を最大限受けることも考えないといけないと思う。 住田を通過点ではなく、目的地にしなければならない。今での考え方、やり方ではじり貧になると思う。思い切った方向転換が必要だと思う。気仙語は国語で習わないので地域でしか通じないので標準語を
45～49	男	男子型企業の誘致(200人規模の)
45～49	男	若者が住みたくなるような、いろんな面での町づくりを希望
45～49	男	市町村合併
45～49	男	・魅力的な町、人づくり ・他町・市・県の人たちが気楽に遊びに来たくなるコミュニケーション場の充実
45～49	男	地元の人たちで会社を起業すること
45～49	男	企業誘致(積極的に!)
45～49	男	1. 地元企業を誘致し、雇用の確保 2. 住宅施設の充実を図り、住田に定住してもらい他地域へ働きに出してもらう。 3. 農林業の活性のために、民泊や子ども農山漁村交流事業を推進し、他地域から担い手を呼ぶ。 4. 子ども観光大使の積極的推進と全面的支援 気仙地域(大船渡・高田・住田・釜石・遠野)での連携した観光インバウンド対策 5. 400メートルトラックを有する競技場を作り、気仙のスポーツをすべて住田で開催 お金がおりますよ。
45～49	男	若い人が外に出なくても良いように働く場所があれば良いと思う。
45～49	男	若い人が働く場が増えれば良いと思う。
45～49	男	町出身者で町外在住者が戻ってきて住みたい。実際に戻ってくるようにする施策が必要。 交通網の中継地点であるという地の利を生かした産業等の創出。情報の発信。
45～49	男	企業誘致計画
45～49	男	人口対策に関しては、働く場所があれば多少は外に流れない。子供は地域の宝であるならもっと充実した子育て支援がほしい。そうでないと子供は増えません!!
45～49	男	雇用対策。町は木だけにこだわらず、他の視野を取り入れないとますます過疎化が進む。
45～49	男	新築住宅に補助金・住田の木材でさらにUP!
6区		町の予算を町民全員で山分け